

※資料編（環境データ）

（1）ニームス（Ni-EMS） について

1)ニームス（Ni-EMS）とは？

ニームスとは、新居浜市独自の環境マネジメントシステムの通称名。平成16年10月6日、新居浜市役所本庁舎内の組織の事務事業を対象範囲として、環境マネジメントシステム（環境管理システム）の国際規格ISO14001の認証を取得し、継続的な環境改善を図ってまいりました。

新居浜市は、環境基本計画、環境保全行動計画、地球温暖化率先行動計画を策定し、全部署を対象としてこれらの環境関連計画を進行管理しており、職員は、ISOにおける環境管理と混乱していました。

そのようなことから、平成19年4月、ISO活動の成果と課題をもとに、新居浜市独自の環境マネジメントシステム（Ni-EMS：通称ニームス）を構築し、運用を開始しました。

ニームスの特徴は、ISO14001で構築した体制は維持しつつ、対象範囲をこれまでの本庁舎から全部署に拡大し、各課所で目標設定を行い、電気や燃料などの維持経費の削減に努め、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した『エコアクションプランにいはま（地球温暖化対策率先行動計画）』及び平成21年に改正されたエネルギー使用の合理化に関する法律に基づき、当市が特定事業者に指定されたことから、この法に基づくエネルギー削減の中長期計画を効率よく推進し、その成果について、ISO14001審査員資格者、エコアクション21審査員資格者、愛媛県地球温暖化防止活動推進員等市民10名に環境監査委員として、市民の目線で市役所の環境活動を確認・助言していただいています。

※ISO14001とニームスのちがい

項目	ISO14001	ニームス
対象範囲	本庁舎内の部署	全部署
要求事項	ISO14001	新居浜市独自
システム文書類	多い	少ない
環境監査	市職員(内部監査)	環境監査と審査を統合 (市民環境監査委員10人で実施)
審査	外部審査機関	
経費	多い	少ない
その他	難しい単語が多く、難解	わかりやすい

※資料編（環境データ）

2) 環境方針とは？

環境方針とは、平成19年4月1日に、環境マネジメントシステムを運営していく上での、基本的な取組の姿勢を明確にした環境管理総括者（市長）の表明のことです。

組織外への、環境保全に取組む意思表示であり、組織内においては、環境保全に取組む職員の意思統一のためのシンボルとなるものです。



こどもたちの未来のために
人と自然が共生し、かけがえのない環境を
大切にするまち “にいほま”

1 基本理念

私たちの住む新居浜は、公害を体験し、克服してきた歴史があるまちです。その先人の取組が、肥沃な大地と海と山の豊かな自然の恵みをもたらし、潤いと安らぎを与えてくれています。このすばらしい環境は、先人から受け継いだかけがえのない遺産であるとともに、将来の世代に必ず引き継がなければならない貴重な財産でもあります。

そのためには、市、市民及び事業者がそれぞれの責務を果たし、互いに協力し、学び合いながら、協働して新居浜の環境の保全及び創造に努めなければなりません。

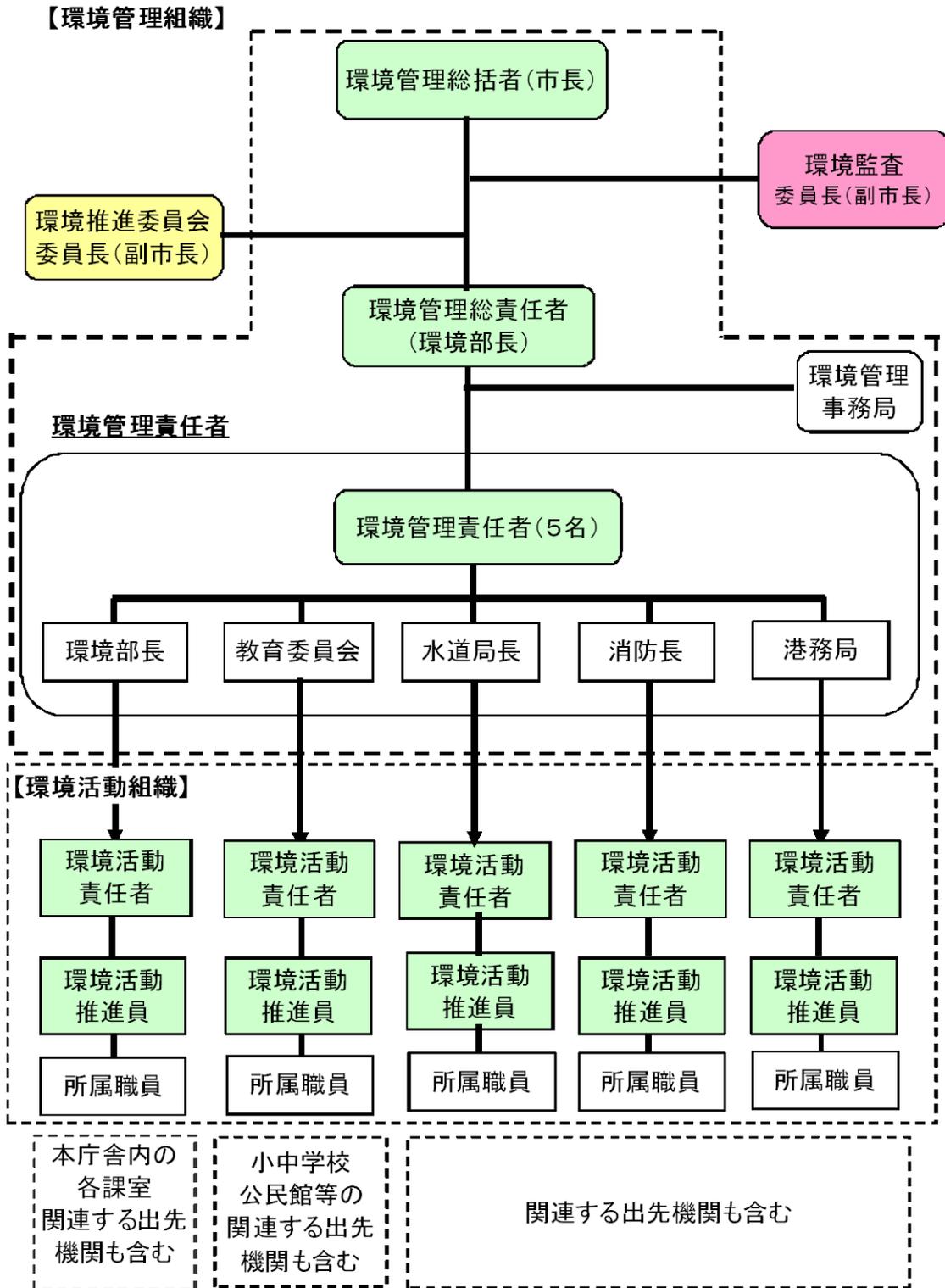
新居浜市は、自らが率先して環境に配慮した行政を推進し、『めざす環境像』の実現に努めます。

2 基本方針

- (1) 地球温暖化対策を率先垂範して推進するため、省エネ法対応への組織体制を整備するとともに各課所が目標設定し活動することにより、エネルギー消費原単位の削減に取り組みます。
- (2) 自然と共生したまちづくりを進めるため、新居浜市環境基本計画、新居浜市環境保全行動計画に基づき、積極的に各種施策を推進します。
- (3) 環境関連法令、条例、協定等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- (4) 職員が環境方針を理解し、環境方針に沿った活動ができるよう研修を行います。
- (5) 環境方針に基づく活動結果を公表します。

※資料編（環境データ）

3) 組織体制



※資料編（環境データ）

4) ニームス活動結果

環境関連計画推進項目 進捗状況（平成22年度）

【達成状況】 目標達成:



目標未達成:



番号	項目	課所名	平成22年度 目標	平成22年度 活動実績	達成状況
1	低公害車購入の推進	管財課	低公害車 3台購入	低公害車 3台購入	
2	公共施設愛護事業(アダプトプログラム)の推進	市民活動推進課	登録件数 80件	登録件数 85件	
3	資源集団回収の推進	ごみ減量課	資源回収量 2,741t	資源回収量 2,097t	
4	生ごみ処理容器購入助成の推進		補助基数 527基	補助基数 146基	
5	ペットボトル分別収集の推進		回収量 240t	回収量 242t	
6	古紙類分別収集の推進		回収量 3,400t	回収量 2,758t	
7	環境管理システム (ニームス)の運用管理	環境保全課	ニームスの確立を図り、 効率的な運用管理に努める	予定どおり実施	
8	エコ通勤の実施		エコ通勤を継続実施し、 エコ通勤率を公表する	エコ通勤を継続実施 エコ通勤率は42.1%	
9	グリーン購入の推進		グリーン購入を継続実施し、 グリーン調達率を公表する	グリーン購入を継続実施 グリーン調達率は97%	
10	光化学オキシダントの 常時監視を継続実施		被害を最小限とするため、光化学オキシダ ントの常時監視を継続実施する	予定どおり実施	
11	環境活動の推進		森林体験学習、自転車マイレージ活動、環 境PR活動の開催等の環境活動を推進する	予定どおり実施	
12	公共下水道の普及促進	下水道建設課	人口普及率 57.2%	人口普及率 56.8%	
13	廃棄物発電の推進	清掃センター	発電量 7,900,000kwh	発電量 7,823,360kwh	
14	下水汚泥の有効利用	下水処理場	有効利用率 100%	有効利用率 100%	
15	資源再生商品の使用推進 (道路応急補修材)	道路課	資源再生商品使用率 50%以上	資源再生商品使用率 67%	
16	都市緑化の推進	都市計画課	花苗等の配布を通して公園や道路等公共 施設の緑化を推進する	花苗9,870株を配布した	
17	森林体験学習の実施	農林水産課	森林体験学習の実施 1回	予定どおり実施 (3月)	
18	有休農地の有効活用	農業委員会 事務局	景観形成作物栽培 3箇所で開催	予定どおり実施	
19	スクールエコ運動の推進	学校教育課	子ども環境サミットを開催し、 スクールエコ運動の啓発を図る	予定どおり実施 (7月)	
20	環境関係のお話会の実施	図書館	環境保全に関する本や 紙芝居等の読み聞かせ実施 4回	予定どおり実施 (4月)	
21	環境関係の資料展示		環境保全に関する資料展示の実施 1回	一回多く実施 (6月、8月)	
22	上水道有収率の向上	水道局 工務課	有収率 92.5%	有収率 91.1%	

※資料編（環境データ）

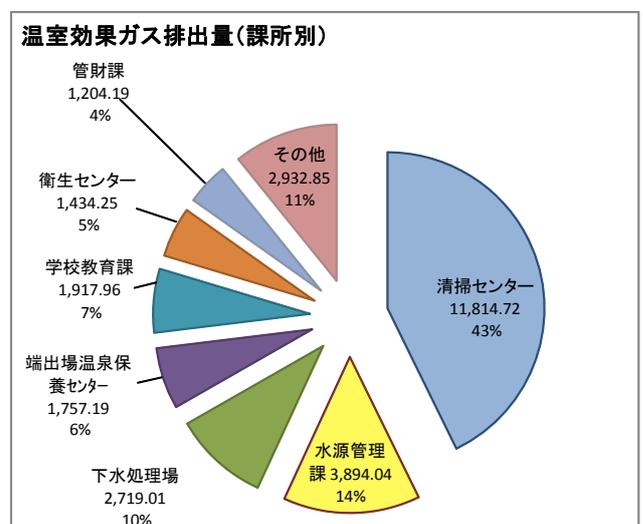
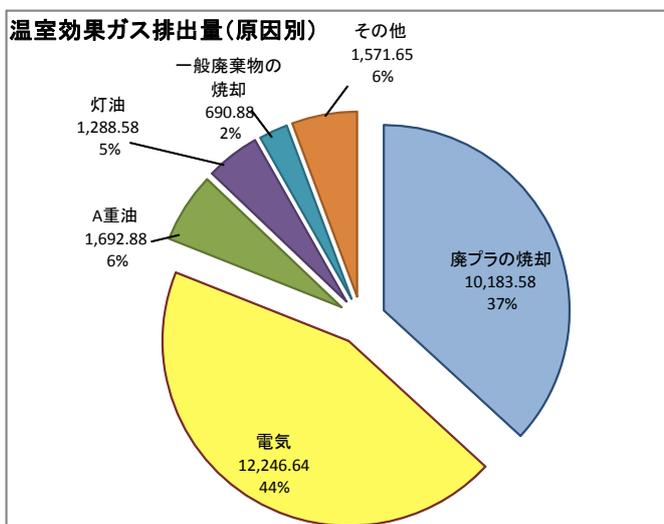
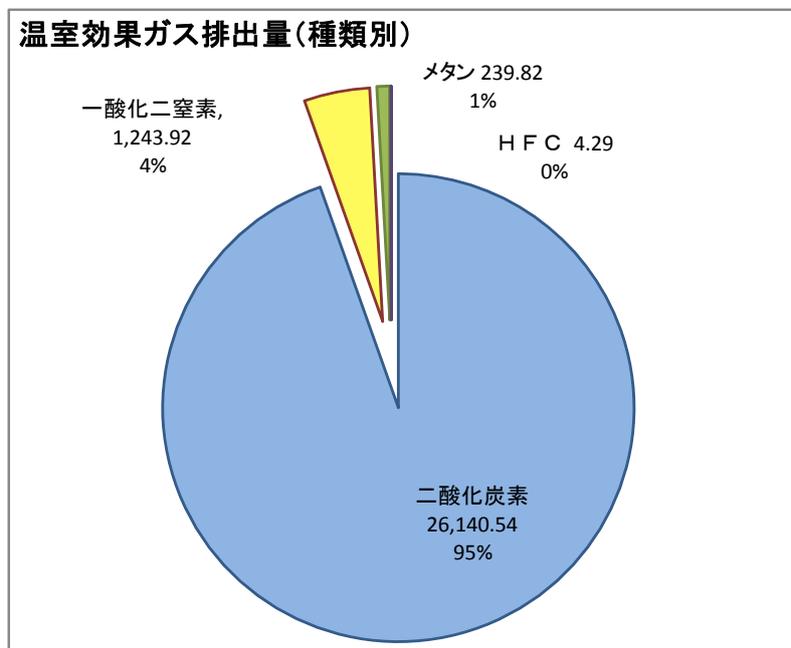
（２）市役所の事務事業から排出される温室効果ガス

1)温室効果ガスの排出状況

温室効果ガス（二酸化炭素など）は、一般廃棄物の焼却、電気の使用、燃料（灯油・ガソリンなど）の使用などによって排出されます。

平成22年度の温室効果ガス総排出量は、約27,629t-CO₂であり、基準年度である平成20年度（約32,367t-CO₂）と比較すると14.6%減となり、削減する目標を達成しました。

排出量が減少した原因は、一般廃棄物に含まれる廃プラの焼却量減少によるものです。



※資料編（環境データ）

2)活動量調査結果

平成22年度 活動量調査結果 総括表

※項目の は、基準年から増加している項目です。

項目	目標	基準年度 (平成20年度)	目標年度 (平成25年度)	平成22年度 実績	対基準年度 増減率	主な増減課所
温室効果ガス総排出量	18%以上削減	32,367 t-CO ₂	26,540 t-CO ₂	27,629 t-CO ₂	-14.6%	△二酸化炭素の減
1 電気使用量	4%以上削減	32,770,372 kWh	31,459,557 kWh	32,290,162 kWh	-1.5%	△下水処理場 衛生センターで減
2 灯油使用量	基準年度値	446,865 ℓ	446,865 ℓ	519,482 ℓ	16.3%	○畜場 学校教育課（小・中学校含む） で増
3 A重油使用量	4%以上削減	994,947 ℓ	955,149 ℓ	622,301 ℓ	-37.5%	△端出場温泉保養センター 下水道管理課 総務警防課で減
4 液化石油ガス使用量	基準年度値	89,939 kg	89,939 kg	92,162 kg	2.5%	○児童福祉課（保育園を含む） 学校教育課（小・中学校含む） で増
5 ガソリン使用量	3%以上削減	84,773 ℓ	82,229 ℓ	105,695 ℓ	24.7%	○総務警防課 別子山支所 青少年センターで増
6 軽油使用量	10%以上削減	88,907 ℓ	80,016 ℓ	96,761 ℓ	8.8%	○清掃センターで増
7 公用車の走行距離	5%以上削減	934,216 km	887,505 km	1,031,396 km	10.4%	○包括支援センター 別子山支所で増
水道使用量	基準年度値	541,622 m ³	541,622 m ³	538,983 m ³	-0.5%	△慈光園 端出場温泉保養センターで減
コピー用紙購入量 (A4換算)	5%以上削減	16,014,848 枚	15,214,105 枚	17,592,264 枚	9.8%	○総務課 社会教育課 学校教育課（小・中学校含む） で増
封筒購入量 (通常事務用)	基準年度値	191,100 枚	191,100 枚	189,900 枚	-0.6%	-